

(4)基本目標4 仕事と子育ての両立を支援する施策の充実

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

4-(1) 多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成23年度末 進捗状況	平成23年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成24年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	ワークライフバランスの 推進・啓発	拡充	セミナー年2 回 就業規則等で 育児休業制度 を規定してい る割合 70%	A	・(財)21世紀職業財団埼玉事務所・男女共同参画課・子育て支援課と共催で「仕事と家庭の両立を推進するためのセミナー」を開催 ・労働学院(ワークライフバランス)を開催	・仕事と家庭の両立を推進するためのセミナー 参加者 24名 ・労働学院(ワークライフバランス)参加者 40名	H22	A	52	51	引き続き労使双方を対象に実施していく。	雇用支援課
							H23	A	52	50		
							H24		50			
							H25					
									154	101		
				A	・H23年9月に企業啓発研修:「これからのワークライフバランスと企業理念」を緊急地域経済対策室及び子育て支援課と共催し、事業主や人事労務担当者に対し次世代支援育成に関するセミナーを行うことができた。 ・H24年2月に男女共同参画職員研修:「男女共同参画への取組・評価と教育の役割」を職員課と共催し、職員に対して男女共同参画意識を高めるための講演会を行った。	H22 ・企業啓発研修参加者 9社 ・職員研修参加者 81名 H23 ・企業啓発研修参加者 12社 ・職員研修参加者 86名	H22	A	30	30	労使双方へあらゆる機会を通じて啓発活動に努める。	男女共同参画課
		H23	A	15	27							
		H24		15								
		H25										
									60	57		
				B	・(財)21世紀職業財団埼玉事務所との共催により、事業主や人事労務担当者を対象に、多様な働き方のできる雇用や職場環境づくりについての「仕事と家庭の両立を推進するためのセミナー」を実施した。「これからのワーク・ライフ・バランスと企業理念」についての講演と、「次世代育成支援対策推進法について」の説明を行った。 ・企業の子育て支援に関する実態を把握し、今後の子育て支援施策を推進するうえでの基礎資料を得ることを目的として市内の事業所等(380社)に対してアンケート調査を実施するとともに、ワーク・ライフ・バランスに関して総合的に情報を閲覧でき、一般事業主行動計画の策定や企業が子育て支援を推進するうえで支援できる「両立支援総合サイト」の利用についてのリーフレットを送付した。 また、東日本大震災による電力供給能力低下に伴う節電対策で、変則的に土曜日、日曜日を勤務日とする事業所が想定されたため、可能な限り子育て中の従業員に配慮していただくよう依頼した。	H22:セミナー1回 参加者数26名 H23:セミナー1回 参加者数24名	H22	B	10	-	セミナーやHP等を通じてワーク・ライフ・バランスを推進・啓発していく。セミナーについては、事業主や企業の人事労務担当者に限らず、興味を持つ一般の方も参加できるようにして幅広く周知する。	子育て支援課
		H23	B	10	-							
		H24		10								
		H25										
									30	0		
				B	特定事業主行動計画について、課長級に昇任した職員を対象に説明会を実施し、職員の仕事と子育ての両立支援に関する意識啓発を行った。	H22:研修1回(8/3) 参加人数37人 H23:研修2回(8/2) 参加人数18人	H22	B	-	-	職員の仕事と子育ての両立支援について、引き続き管理監督者への意識啓発を図るとともに、全職員に対しても周知し、理解を図っていく。	職員課
									0	0		

2	ハローワーク求人情報の提供	継続	提供箇所数 15箇所	A	ハローワーク川越求人情報を本庁、出張所、南連絡所、女性会館、サンライフ川越で配布し、市ホームページに掲載し毎週更新して提供した。	H22:15箇所にて配布 H23:15箇所にて配布	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	引き続き最新の求人情報を提供していく。	雇用支援課
3	求職相談	継続	相談件数 年200件	A	就労相談室や年代別にキャリアカウンセリングを行う団塊世代第2ステージ相談会、若者ジョブナビゲーション等を実施し、広く相談に応じる体制とした。	・就労相談室 H22:240回 相談80件 H23:240回 相談115件 ・団塊世代第2ステージ相談会 H22:21回 相談9件 H23:20回 相談2件 ・若者ジョブナビゲーション キャリア・心理カウンセリング H22:58回 176件 ・若者ジョブナビゲーション キャリアカウンセリング H23:46回 171件 ・心理カウンセリング H23:12回 45件	H22 A 2,140 2,130 H23 A 2,256 2,276 H24 2,738 H25 H26 計 7,134 4,406	しごと支援センターの開設により求職者の利便性を図り、さらにPRを行っていく。	雇用支援課
4	就労支援事業	継続	講座開催 年12回	A	就労に必要な実践的なスキルを身につける講座や、就職活動に役立つ代表職種の実務や就職活動方法に関するセミナーを開催した。 ※社会人基礎力アップセミナー1・2、介護の仕事入門講座1・2、若者ジョブナビゲーションセミナー、女性のための再就職支援セミナー、自分再発見セミナー、キャリア形成セミナー	・H22 6事業28回 延べ受講者245人 ・H23 8事業29回 延べ受講者367人	H22 A 936 715 H23 A 950 764 H24 1,711 H25 H26 計 3,597 1,479	就職活動や就労に役立つ実践的な事業を開催する。	雇用支援課
5	就職面接会	継続	開催数 年2回	A	ハローワーク、近隣市町と共催で若者就職面接会、障害者就職面接会を実施した。	・H22 3回実施 参加求職者456人 ・H23 3回実施 参加求職者431人	H22 A 400 296 H23 A 400 347 H24 368 H25 H26 計 1,168 643	ハローワーク川越等と連携して引き続き実施する。	雇用支援課
6	労働基本調査	継続		D	約4年に1回の実施であるため、本年度は未実施(前回20年度実施)。	未実施	H22 D — — H23 D — — H24 0 H25 H26 計	市内企業の雇用・労働状況を把握するため調査を実施する。 (6月補正により実施予定)	雇用支援課
7	労働相談	継続	開催数 年12回	A	勤労者、事業主双方を対象として社会保険労務士による労働相談を実施した。	・H22 開催回数 17回 相談14件 ・H23 開催回数 18回 相談6件	H22 A 192 180 H23 A 192 192 H24 120 H25 H26 計 504 372	労使双方に労働問題について気軽に専門家に相談できる場を提供し、さらにPRを図っていく。 なお、夜間は利用がなかったため廃止した。	雇用支援課

8	一般事業主との連絡会	拡充	参加企業数 年50社	B	(財)21世紀職業財団埼玉事務所との共催により、事業主や人事労務担当者を対象に、多様な働き方のできる雇用や職場環境づくりについての「仕事と家庭の両立を推進するためのセミナー」を実施した。「これからのワーク・ライフ・バランスと企業理念」についての講演と、「次世代育成支援対策推進法について」の説明を行った。 ・企業の子育て支援に関する実態を把握し、今後の子育て支援施策を推進するうえでの基礎資料を得ることを目的として市内の事業所等(380社)に対してアンケート調査を実施するとともに、ワーク・ライフ・バランスに関して総合的に情報を閲覧でき、一般事業主行動計画の策定や企業が子育て支援を推進するうえで支援できる「両立支援総合サイト」の利用についてのリーフレットを送付した。	H22: 参加企業数10社 参加者数26名 H23: 参加企業数11社 参加者数24名	H22 B — — H23 B — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	参加者が少ないため、企業の規模に関わらず、多くの企業が参加していただけるように幅広く周知する。	子育て支援課
9	女性の就労支援事業	継続		A	女性の就労支援や資格取得を目標とした講座を実施する。 ・宅建基礎講座 23回 延べ641名 ・日商簿記3級講座 20回 延べ442名 ・医療事務講座 20回 延べ358名 ・介護事務講座 16回 延べ305名 ・調剤事務講座 10回 延べ157名	H22 受講者数 述べ2,401名 H23 受講者数 述べ1,903名	H22 A 8,096 7,698 H23 A 8,093 7,471 H24 7,292 H25 — — H26 — — 計 23,481 15,169	引き続き、女性のニーズに応じた就学支援や、社会の動きに対応できる資格支援に努める。	女性会館
10	特定事業主行動計画	新規		A	特定事業主行動計画の後期計画「次世代育成支援のプログラムⅡ～仕事と子育ての両立支援～」の実施状況を全所属へ通知し、その中で育児休業を取得した男性職員の体験談を紹介するなど制度周知を行った。	H22: 出産補助休暇96.3%・育児参加休暇59.3%・年休(1人当たり)14.1日 H23: 現時点では未集計	H22 B — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	行動計画について引き続き職員に周知し、職員が仕事と子育てを両立しやすい職場環境の整備に努める。	職員課
11	母子家庭等就業・自立支援センター事業 (6-(2)-8に掲載)	新規	延べ利用者数 300人/年	A	託児付きの就労支援セミナーやパソコン講座を開催することにより、就労面から母子家庭の自立を支援した。また、併せて就労に関する相談を受け付けた。 セミナー 8人 パソコン講座 23人 就労相談 319人	セミナー パソコン講座 就労相談 H22 13人 24人 323人 H23 8人 23人 319人	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	引き続き、託児付き講座等の開催、就労相談の実施により、就労面から母子家庭の自立を支援していく。	子育て支援課
12	母子自立支援プログラム策定事業 (6-(2)-11に掲載)	新規	プログラム策定件数 40件/年	A	児童扶養手当受給者を対象に、自立を促進するための自立支援プログラムを策定し、きめ細やかで継続的な就労支援を行った。 プログラム策定件数 40件	H22 プログラム策定件数 39件 H23 プログラム策定件数 40件	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	引き続き、児童扶養手当受給者の自立を支援するために自立支援プログラムを策定し、継続的な就労支援を行っていく。	子育て支援課

4-(2) 仕事と子育ての両立の推進

No.	事業名	目標	目標事業量	平成23年度末 進捗状況	平成23年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成24年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	ファミリー・サポート・センター事業 (5-(1)-7に掲載)	拡充	2箇所	B	設置箇所数 1箇所 依頼会員 1,282人 提供会員 491人 依頼提供会員 74人 活動件数 6,521件	H22 依頼会員 1,186人 提供会員 436人 依頼提供会員 67人 H23 依頼会員 1,282人 提供会員 491人 依頼提供会員 74人	H22 B — — H23 B — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	依頼会員に対して提供会員が少ないため、事業内容の周知と提供会員の増加を図る。	保育課			
2	学童保育事業 (5-(1)-1に掲載)	拡充		A	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内32学童保育室で保育した。 【1,902人】	年度当初入室児童数 平成20年度 1,901人 平成21年度 1,941人 平成22年度 1,906人 平成23年度 1,902人 平成24年度 1,916人	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保護者の就労等により、家庭が常時留守になっている児童を、待機児童なく安全に保育する。	教育財務課			
3	病児・病後児保育事業 (5-(1)-3に掲載)	拡充	13箇所	C	病児・病後児保育として、新たに1施設(定員:3人)を増設したことにより、2施設にて事業を実施。 【2箇所・6人】	H22【1箇所・3人】 H23【2箇所・6人】	H22 C — — H23 C — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	病児・病後児保育実施施設の増設を図る。	保育課			
4	一時的(特定)保育事業 (5-(1)-4に掲載)	拡充		C	公立保育園5園、法人保育園8園で実施。 【13箇所・6,080人】	H22 13箇所・5,876人 H23 13箇所・6,080人	H22 C — — H23 C — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0		保育課			
5	法人立保育所への支援 (5-(2)-7に掲載)	拡充		A	民間保育所の運営の充実を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成している。	H22 13園で実施 H23 17園で実施	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	法人立保育所の保育サービスの充実に努める。	保育課			
6	家庭保育室委託事業 (5-(2)-8に掲載)	拡充		B	委託施設数 市内 21箇所 市外 19箇所 委託児童数 市内 2,972人 市外 329人	H22 市内の家庭保育室21箇所と家庭保育委託契約を締結し、保育に欠ける乳幼児の保育を委託している。 H23 市内の家庭保育室21箇所と家庭保育委託契約を締結し、保育に欠ける乳幼児の保育を委託している。	H22 B — — H23 B — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保育業務を家庭保育室に委託するにあたり、助成の充実を図る。 新たに家庭保育室を指定する。	保育課			

7	認可外保育施設への助成制度 (5-(2)-9に掲載)	拡充		C	障害児の保育については助成を実施 その他の助成については調査、研究を行っている。		H22 C — — H23 C — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	制度の仕組み等の検討、調査の実施	保育課
8	認可外保育施設等の認可化支援 (5-(2)-10に掲載)	継続		D	事業なし		H22 D — — H23 D — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	助成制度を設け推進を図る。	保育課
9	幼稚園での預かり保育事業 (5-(2)-11に掲載)	継続		A	(人数割 (1日平均人数四捨五入済)) 1歳未満児 480,000×1人=480,000円 1~2歳児 300,000×64人=19,200,000円 3歳以上 170,000×403人=68,510,000円 長期休業加算 29園×300,000=8,700,000円 施設経費補助 29園×400,000=11,600,000円	補助対象園児数 H18 366人 H19 396人 H20 409人 H21 410人 H22 424人 H23 468人	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	幼稚園預かり保育の推進に努める。	保育課
10	男女共同参画の促進	新規		A	市民との協働委託事業として、年2回情報紙(イーブン)を発行した。	H22 第32号、第33号 各5,000部発行 H23 第34号、第35号 各5,000部発行	H22 A 607 607 H23 A 620 620 H24 610 H25 — — H26 — — 計 1,837 1,227	引き続き、情報紙の発行を通じ、男女共同参画社会の形成を目指した社会的気運の醸成に努める。	男女共同参画課
				A	女性の社会参画を促進するため、就労支援や資格取得を目標とした各種講座を実施した。 また、国・県と協力して各種セミナーの案内や育児休業等のリーフレットを配布した。	H22 受講者数 述べ2,401名 H23 受講者数 述べ1,903名	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	引き続き、女性のニーズに応じた就学支援や社会の動きに対応できる資格支援に努める。	女性会館
11	両親学級 (1-(1)-13の再掲)	拡充		A	妊婦とその夫を対象に育児、栄養、歯科についての正しい知識を普及し、妊娠中の不安の解消と父親の育児参加を支援した。	プレパママスクール H22:5回 102組 200人 (夫再掲 98人) H23:6回 129組 257人 (夫再掲126人)	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	妊婦とその夫を対象に育児、栄養、歯科についての正しい知識を普及し、妊娠中の不安の解消と父親の育児参加を支援する。	健康づくり支援課
12	家庭教育講座 (2-(3)-4の再掲)	拡充	25講座	A	家庭教育力を高めるため、乳幼児の心と体をはぐくむ親のための講座を開催した。 17公民館、28講座 参加者延人数 3,816人	H22 17公民館、32講座 参加者延人数 3,814人 H23 17公民館、28講座 参加者延人数 3,816人	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	家庭教育力を高めるため、乳幼児の心と体をはぐくむ親のための講座を開催する。	中央公民館

13	市民との協働による父親育児講座 (3-(1)-4の再掲)	新規	参加者数 年30組	A	市民活動団体との協働委託事業により、子育て中の父親を対象に子育ての楽しさを実感し、育児への関心を高めるとともに、父親の育児参加を促進するため、具体的に活用できる講座を実施 ・CAP講座(子どもへの暴力防止プログラム) (母子はサロンなど別プログラムを実施) ・子どもの可愛い写真の撮り方講座	H22:2日間で延べ26組、73人の参加	H22	A	—	—	市民活動団体との協働委託事業として、小児救急、誕生学講座などを実施する予定。	子育て支援課
						H23:2日間で延べ22組、38人の参加	H23	A	—	—		
							H24		—			
							H25					
							H26					
							計		0	0		

(5)基本目標5 子育てを地域で支える仕組づくりの推進

【網掛】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

5-(1) 地域における子育て支援サービスの充実

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成23年度末 進捗状況	平成23年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成24年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	学童保育事業	拡充	2,251人	A	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内32学童保育室で保育した。 【1,902人】	年度当初入室児童数 平成20年度 1,901人 平成21年度 1,941人 平成22年度 1,906人 平成23年度 1,902人 平成24年度 1,916人	H22 A 433,887 426,872 H23 A 432,038 426,057 H24 472,157 H25 H26 計 1,338,082 852,929	保護者の就労等により、家庭が常時留守になっている児童を、待機児童なく安全に保育する。	教育財務課			
2	学童保育室施設整備事業	新規		A	入室児童数の増加している学童保育室を学校と検討した上で学校余裕教室を整備し、学童保育室として利用できるようにした。 平成23年度は、高階南学童保育室の移転工事設計を行った。	H22 2学童整備 H23 1学童工事設計	H22 A 433,887 426,872 H23 A 432,038 426,057 H24 472,157 H25 H26 計 1,338,082 852,929	唯一学校敷地外にある高階南学童保育室を高階南小学校の敷地内への移転工事を実施する。 狭隘化、老朽化した学童保育室を整備する。	教育財務課			
3	病児・病後児保育事業	拡充	13箇所	C	病児・病後児保育として、新たに1施設(定員:3人)を増設したことにより、2施設にて事業を実施。 【2箇所・6人】	H22【1箇所・3人】 H23【2箇所・6人】	H22 C 9,692 9,600 H23 C 15,516 13,400 H24 19,318 H25 H26 計 44,526 23,000	病児・病後児保育実施施設の増設を図る。	保育課			
4	一時的(特定)保育事業	拡充	50箇所 150,000人	C	公立保育園5園、法人保育園8園で実施。 【13箇所・6,080人】	H22 13箇所・5,876人 H23 13箇所・6,080人	H22 C — — H23 C — — H24 — H25 H26 計 0 0	今後新たに開設する新規保育所に事業実施を依頼し、事業の拡充に努めていく。	保育課			
5	地域子育て支援拠点事業	拡充	25箇所	B	13箇所で平成22年度に引き続き実施。 子育て親子の交流の場の提供。育児相談。子育て講座の開催。子育て情報の提供。 ※子育て支援センター3箇所は公民館、公園等への出張支援も行っている。 【13箇所】	H22 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人6箇所) 計10箇所を実施。 H23 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人9箇所) 計13箇所を実施。	H22 B — — H23 B — — H24 — H25 H26 計 0 0	子育て支援拠点の新規開設を検討し事業の拡充を図るとともに、既存の子育て支援施設の支援内容の向上を図る。	保育課			
6	保育所による地域子育て支援事業	拡充		A	地域の親子へ園行事への参加の呼びかけ。園庭開放。 育児サークル支援。 【37箇所】	H22 公立20園 法人13園 計33園で実施。 H23 公立20園 法人17園 計37園で実施。	H22 A — — H23 A — — H24 — H25 H26 計 0 0	保育園 育児相談及び園庭開放の充実	保育課			

7	ファミリー・サポート・センター事業	拡充	2箇所	B	設置箇所数 1箇所 依頼会員 1,282人 提供会員 491人 依頼提供会員 74人 活動件数 6,521件	H22 依頼会員 1,186人 提供会員 436人 依頼提供会員 67人 H23 依頼会員 1,282人 提供会員 491人 依頼提供会員 74人	H22 B 12,142 11,295 H23 B 12,151 12,089 H24 12,111 H25 H26 計 36,404 23,384	依頼会員に対して提供会員が少ないため、事業内容の周知と提供会員の増加を図る。	保育課
8	ショートステイ事業	新規	1箇所	D	未実施	H23 未実施	H22 D — — H23 D — — H24 — H25 H26 計 0 0	保護者の病気や入院、災害、事故などにより、児童の養育が困難になった場合など、児童養護施設などで一時的に児童を短期間預かるショートステイ事業の新たな実施に向けて検討していく。	子育て支援課
9	パパ・ママ応援ショップ事業	新規	市内協賛店舗・施設数 350箇所	A	中学生までの子どもまたは妊娠中の方がいる家庭を応援するため、店舗等で割引などのサービスが受けられる応援ショップ事業を埼玉県と共同して実施した。チラシやHP等で事業の周知を図り、優待カードを母子手帳交付時、未就学児のいる世帯の県外からの転入手続き時に配布した。市内協賛店舗・施設数 596箇所	市内協賛店舗・施設数 H22 540箇所 H23 596箇所	H22 A — — H23 A — — H24 — H25 H26 計 0 0	対象となる世帯には優待カードを漏れなく配布し、市内の店舗・施設には協賛店として協力していただけのように事業の周知を図る。市内の協賛店を地図上でも簡単に確認できるように、小江戸川越マップ(HP上)への掲載を検討する。	子育て支援課
10	総合支援窓口	新規		A	平成23年11月に子育て世代を積極的に支援している県内自治体として「地域子育て応援タウン」に認定され、総合支援窓口(子育て支援課内)について広く周知し、市民のニーズに応じて必要とするサービス提供主体への連絡等をおこなった。また、子育て情報コーナー等の充実や、市のHP及びモバイルサイトの「子育て支援のページ」を整備して知りたい情報を簡単に取得できるように努めるとともに、メール配信サービスで登録者が必要とする情報を積極的に配信した。登録件数978件。	H22 メール配信登録件数 800件 H23 メール配信登録件数 978件	H22 A — — H23 A — — H24 — H25 H26 計 0 0	情報誌や、ホームページ、メール配信等を活用し、子育て支援サービスのメニューや手続方法の周知を図っていく。また、来庁されたかたについては、必要とするサービスの案内等をおこなう。	子育て支援課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

5-(2) 保育サービスの充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成23年度末進捗状況	平成23年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績		平成24年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況		
1	通常保育事業	拡充	3,840人	C	公立保育所20園、定員1,830人 法人保育所17園、定員1,251人 【3,081人】	H22 2,705人 H23 3,081人	H22 C — — H23 C — — H24 — H25 H26 計 0 0	新規保育所の開設等により定員の拡大を図る。	保育課	
2	延長保育事業	拡充	40箇所 2,040人	A	全20箇所の公立保育所において、1時間(高階保育園では2時間)の延長保育を実施。民間保育所においては、全17箇所を実施。実施園については所要額を助成。 【37箇所・1,301人】 ※人数は民間保育所を除いたもの。	H22 33箇所・1,312人 H23 37箇所・1,301人	H22 A — — H23 A — — H24 — H25 H26 計 0 0	平成24年度に開設する新規保育園でも延長保育を実施依頼し、事業の拡充を図る。	保育課	

3	統合保育事業	拡充		A	障害児及び健常児の成長と発達を促進するため、保育所において統合保育を実施している。	平成22年4月時 73人実施 平成23年4月時 73人実施	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	統合保育の充実に努めていく。	保育課
4	土曜保育事業	拡充		A	平成22年4月から、名細保育園、高階第三保育園、南古谷第二保育園において事業を開始したことにより、公立保育園10園で、土曜日の一日保育を実施した。	H22、H23 名細第二、中央、脇田新町、高階第二、仙波町、神明町、霞ヶ関第二、名細、高階第三、南古谷第二保育園の10園で実施。	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保育ニーズの高まりにより、徐々に実施園拡大してきたが、引き続き、土曜保育に関するニーズの把握に努める。	保育課
5	産休明け保育事業	拡充		D	公立保育園で産休明け保育を試行的に実施するため、実施園の候補を挙げた。		H22 D — — H23 D — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保育サービスの質の低下を招かない最良の運営方法等について、他市の事例を調査・研究していく。	保育課
6	公立保育所の運営方法の検討	拡充		D	近年における保育情勢、他市の民営化に係る状況等をもとに、調査研究をしている。		H22 D — — H23 D — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保育サービスの質の低下を招かない最良の運営方法等について、他市の事例を調査・研究していく。	保育課
7	法人立保育所への支援	拡充		A	民間保育所の運営の充実を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成している。	H22 13園で実施 H23 17園で実施	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	法人立保育所の保育サービスの充実に努める。	保育課
8	家庭保育室委託事業	拡充		B	市内の家庭保育室21箇所と家庭保育委託契約を締結し、保育に欠ける乳幼児の保育を委託している。	委託施設数 H22 市内21箇所 市外18箇所 H23 市内21箇所 市外19箇所 委託児童数 H22 市内3,224人 市外309人 H23 市内2,972人 市外329人	H22 B 208,009 207,471 H23 B 201,500 198,512 H24 217,288 H25 — — H26 — — 計 626,797 405,983	保育業務を家庭保育室に委託するにあたり、助成の充実を図る。新たに家庭保育室を指定する。	保育課
9	認可外保育施設への助成制度	拡充		C	障害児の保育については助成を実施 その他の助成については調査、研究を行っている。		H22 C — — H23 C — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	制度の仕組み等の検討、調査の実施	保育課

10	認可外保育施設等の認可化支援	継続		D	事業なし		H22 D — — H23 D — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	助成制度を設け推進を図る。	保育課
11	幼稚園での預かり保育事業	継続		A	(人数割(1日平均人数四捨五入済)) 1歳未満児 480,000×1人=480,000円 1~2歳児 300,000×64人=19,200,000円 3歳以上 170,000×403人=68,510,000円 長期休業加算 29園×300,000=8,700,000円 施設経費補助 29園×400,000=11,600,000円	補助対象園児数 H19 396人 H20 409人 H21 410人 H22 424人 H23 468人	H22 A 105,000 100,750 H23 A 99,930 108,490 H24 105,000 H25 — — H26 — — 計 309,930 209,240	幼稚園預かり保育の推進に努める。	保育課
12	保育士研修	拡充		A	公立・法人・家庭保育室の保育士の研修を実施 市主催の保育園職員研修年4回公立1,589人・私立310人 <テーマ別の研修状況> ・乳幼児保育研修 77回 参加者 1,151人 ・障害児保育研修 36回 参加者 286人 ・こどもの病氣予防救急法の研修 54回 参加者 100人 ・食育に関する研修 50回 参加者 197人 ・心とからだの発達に関する研修 52回 参加者 185人 ・各年齢別研究会での学習会 53回 参加者 975人 その他研修会 84回 参加者 671人	H19 228回 3,141人 H20 256回 3,664人 H21 311回 3,065人 H22 462回 5,401人 H23 410回 5,154人	H22 A 2,361 2,112 H23 A 2,361 1,738 H24 2,361 H25 — — H26 — — 計 7,083 3,850	公立・法人・家庭保育室の保育士の研修を実施予定。 法人立・家庭保育室及び認可外の保育施設へも研修会を広く周知し、保育の質の向上に努める。 市主催の研修会年4回 ・乳幼児保育研修 ・障害児保育研修 ・こどもの病氣予防救急法の研修 ・食育に関する研修 ・心とからだの発達に関する研修 ・各年齢別研究会での学習会	保育課
13	保育サービス評価の仕組の導入検討	拡充		C	平成22年度に引き続き公立園及び法人園で実施ができなかった。	H18 高階保育園 H19 中央保育園 H20 仙波町保育園 H21 名細保育園 H22 — H23 —	H22 C — — H23 C — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	公立園についてはH18から4年連続して実施しており、今後は法人園での実施が望まれる。	保育課
14	認定こども園	新規		D	施設設置に向けての相談業務を実施。助成制度について研究を行っている。		H22 D — — H23 D — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	施設設置に向け、相談業務を実施する。	保育課
15	家庭的保育事業(保育ママ)	新規	30人	C	他市の状況を調査研究する。		H22 C — — H23 C — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	家庭保育室制度との共存を図りつつ、推進できるか調査・研究を行う。	保育課

16	トワイライトステイ事業	新規	5人・1箇所	A	保護者が仕事等の理由により、平日の夜間に家庭において養育することが困難な児童を実施施設において保護し、食事の提供等を行った。	H23 登録者数 8世帯10人 利用者数 延55人	H22 D — — H23 A 3,199 1,019 H24 — 3,024 H25 — — H26 — — 計 6,223 1,019	広報、ホームページなどを活用することで、保護者の帰宅が遅くなるなどの理由で当該事業のサービスを必要とする世帯への周知を図っていく。	子育て支援課
17	休日保育事業	新規	180人・3箇所	D	近隣市の実施状況・保育料等について調査するとともに、実施について検討している。		H22 D — — H23 D — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	数年内の実施に向け、検討・調整を図っていく。	保育課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

5-（3）子どもの健全育成の取組

No.	事業名	目標	目標事業量	平成23年度末 進捗状況	平成23年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績		平成24年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況		
1	子どもに関する条例又は宣言等	継続			関係課で、子ども条例制定の必要性や方向性について協議した。	H23 検討会議1回	H22 C — — H23 C — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	他の自治体の状況を踏まえ、関係課で子ども条例における今後の方向性について、今後も協議していく。	子育て支援課	
					具体的な取組の骨子が未定である。	平成22年度具体的な取組の骨子が未定である。主体となる所管課が決まっておらず、会議等は開催されていない。	H22 C — — H23 C — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	必要性について再検討する。	人権推進課	
					具体的な取り組みの骨子が未定である。		H22 C — — H23 C — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	他の自治体の研究を行い、関係課で子ども条例における今後の方向性について、協議していく。	青少年課	
					具体的な取り組みの骨子が未定である。		H22 C — — H23 C — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	他の自治体の研究を行い、関係課で子ども条例における今後の方向性について、協議していく。	教育指導課	

2	人権保育	継続	A	川越市人権保育推進委員会に対する助成を行うとともに、保育所において人権保育を推進している。	公立保育園20園で実施。	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A — — — 1,620	450 720 450 — — 1,099	491 608 — — — 1,099	人権保育の推進を図っていく。	保育課
3	子ども手当	新規	A	法律に基づき、適切に子ども手当の支給、管理を行った。 総支給額 6,436,314,000円 延児童数 518,254人	H22: 総支給額 5,581,439,000円 延児童数 429,343人 H23: 総支給額 6,436,314,000円 延児童数 518,254人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A — — — 13,011,758	5,595,364 6,436,574 979,820 — — 12,017,753	5,581,439 6,436,314 — — — 12,017,753	平成23年度で制度は終了し、平成24年度からは児童手当に移行する。	子育て支援課
	(児童手当)	新規	—			H22 H23 H24 H25 H26 計	— — 4,687,215 — — 4,687,215	— — 4,687,215 — — 0	— — — — — 0	平成24年からの手当制度。児童手当の適正な支給、管理を行う。	子育て支援課
4	幼稚園就園奨励費	拡充	A	国庫補助対象者の他、国庫補助対象外の方についても継続して市単独での補助を実施している。	H22 決算額481,084千円 支給対象園児数6,140人 H23 決算額501,208千円 支給対象園児数6,175人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A — — — 1,519,290	485,995 506,346 526,949 — — 982,292	481,084 501,208 — — — 982,292	国庫補助対象者については、国庫補助増額とともに、単価を増額。国庫補助対象外の方についても、継続して市単独での補助を実施。	教育財務課
5	スポーツ少年団 (2-(3)-6の再掲)	継続	A	体育祭等における団交流、指導者や母集団を対象とした研修会の実施等を通してその資質能力の向上を図った。また、体カテスト会(参加者1,161名)、体育祭(参加者1,615名)、新春マラソン(参加者1,163名)を開催し、子供たち個々の体力向上を図ることができた。	H22 体カテスト会1,146名 体育祭1,387名 新春マラソン1,060名 H23 体カテスト会1,161名 体育祭1,615名 新春マラソン1,163名	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A — — — 0	— — — — — 0	— — — — — 0	継続	スポーツ振興課 (旧 市民スポーツ課)
6	学校体育施設開放事業 (2-(3)-7の再掲)	継続	A	学校開放委員会を中心に小学校32校、中学校20校で体育施設開放を実施した。東日本大震災の影響による計画停電の関係で開放日数は減ったが、多くの地域住民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができた。この他、霞ヶ関北小のプール開放(6~9月)、牛子小・高階西小・芳野小の学校プール開放(7~8月)を行った。学校体育施設開放参加者数402,752名。霞ヶ関北小プール開放参加者数3,507名。牛子小・高階西小・芳野小プール開放参加者数189名。	H22: 学校体育施設開放参加者数369,728名。 霞ヶ関北小プール開放参加者数4,279名。 山田小・南古谷小プール開放参加者数112名。 H23: 学校体育施設開放参加者数402,752名。 霞ヶ関北小プール開放参加者数3,507名。 牛子小・高階西小・芳野小プール開放参加者数189名。	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A — — — 0	— — — — — 0	— — — — — 0	継続	スポーツ振興課 (旧 市民スポーツ課)

7	地域組織活動への研修	継続		A	保健推進員に対して、乳幼児の事故防止の研修を実施。	保健推進員ブロック会議 3回 85人	H22 C — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保健推進員に対して、市の母子保健事業の情報提供を実施していく。	健康づくり支援課
8	児童館	継続		D	新たな公共施設の整備に合わせ、複合施設として児童館機能の導入について検討した。	直近では、平成20年5月に高階市民センター内に高階児童館がオープンした。	H22 D — — H23 D — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	引き続き、新たな公共施設の整備に合わせ、複合施設として児童館機能の導入について検討する。	青少年課
9	児童遊園	継続		A	市内165箇所の児童遊園について、平成22年度に実施した安全点検等に基づき、遊具の修繕を行う。 ・遊具の修繕等 延べ64箇所	遊具の修繕等 H22 延べ81箇所 H23 延べ64箇所	H22 A 38,122 23,497 H23 A 9,902 22,281 H24 22,444 H25 H26 計 70,468 45,778	遊具の安全性確保に更に努める。	青少年課
10	児童館機能の整備 (児童センター子どもの城)	拡充		A	開館日数 240日 利用者数 52,997人 【内訳】 個人利用 32,083人、団体利用 307人 集団指導 9,708人、クラブ活動 682人 体力増進 6,059人、プラネタリウム 4,090人 天体観測 68人 【実施事業及び参加者数】 乳幼児親子活動 149回 7,148人 学童自由参加活動 111回 2,402人 学童登録参加活動 6回 158人 学童クラブ活動 45回 682人 体力増進活動 305回 6,059人	H21 開館日数 307日 利用者数 51,666人 H22 開館日数 308日 利用者数 52,418人 H23 開館日数 240日 利用者数 52,997人	H22 A 48,075 39,242 H23 A 44,368 40,112 H24 42,445 H25 H26 計 134,888 79,354	青少年健全育成並びに子育て支援に係る各種サービスの提供に努める。	青少年課
	児童館機能の整備 (川越駅東口児童館)			A	開館日数 309日 利用者数50,923人 【内訳】個人利用39,854人、団体利用0人、集団指導11,069人 【実施事業及び参加者数】乳幼児と保護者対象173回9,983人、学童対象87回631人、児童対象13回455人	H21 開館日数 309日 利用者数 47,063人 H22 開館日数 307日 利用者数 46,571人 H23 開館日数 309日 利用者数 50,923人	H22 A 15,936 9,743 H23 A 17,336 13,231 H24 14,812 H25 H26 計 48,084 22,974	青少年健全育成並びに子育て支援に係る各種サービスの提供に努める。	
	児童館機能の整備 (高階児童館)			A	開館日数 310日 利用者 54,235人 【内訳】個人利用42,868人、団体利用 0人、集団指導 11,367人 【実施事業及び参加者数】・乳幼児と保護者対象 155回 9,806人 ・学童対象 14回 89人 ・児童対象 209回 1,472人	H21 開館日数 307日 利用者数 48,786人 H22 開館日数 308日 利用者数 54,761人 H23 開館日数 310日 利用者数 54,235人	H22 A 15,938 13,874 H23 A 19,428 18,276 H24 19,058 H25 H26 計 54,424 32,150	青少年健全育成並びに子育て支援に係る各種サービスの提供に努める。	

11	青少年市民会議	継続	A	<p>青少年健全育成活動が、市民総ぐるみで推進されるよう、関係機関・団体と協働して各種事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区会議活動費助成 22地区 ・モデル地区補助事業 6地区 ・青年海外協力隊激励 1名 ・青少年健全育成市民大会参加者 391名 	<p>H22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区会議活動費助成 22地区 ・モデル地区補助事業 6地区 ・青年海外協力隊激励 1名 ・青少年健全育成市民大会参加者 448名 <p>H23</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区会議活動費助成 22地区 ・モデル地区補助事業 6地区 ・青少年健全育成市民大会参加者 391名 	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>3,016</td><td>2,982</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>3,041</td><td>3,041</td></tr> <tr><td>H24</td><td></td><td>3,041</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>9,098</td><td>6,023</td></tr> </table>	H22	A	3,016	2,982	H23	A	3,041	3,041	H24		3,041		H25				H26				計		9,098	6,023	引き続き、市民会議会員である62機関・団体の連携の下、市民総ぐるみの青少年健全育成の推進を図っていく。	青少年課
H22	A	3,016	2,982																													
H23	A	3,041	3,041																													
H24		3,041																														
H25																																
H26																																
計		9,098	6,023																													
12	青少年団体	継続	A	<p>青少年団体の自主活動を推進するため、補助金を交付し、活動の充実を図る。</p> <p>【補助金交付対象団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川越市青少年相談員協議会 ・ボーイスカウト西部初雁地区川越協議会 ・ガールスカウト川越地区協議会 ・川越市吹奏楽団 ・川越市少年の船・翼修了者の会 		<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>407</td><td>269</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>384</td><td>382</td></tr> <tr><td>H24</td><td></td><td>480</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>1,271</td><td>651</td></tr> </table>	H22	A	407	269	H23	A	384	382	H24		480		H25				H26				計		1,271	651	引き続き、青少年団体の自主活動を推進するため、補助金を交付し、活動の充実を図っていく。	青少年課
H22	A	407	269																													
H23	A	384	382																													
H24		480																														
H25																																
H26																																
計		1,271	651																													
13	「子ども110番の家」	継続	A	<p>青少年を育てる市民会議の構成員である地区会議のうち、子ども110番の家を実施している地区会議に対して、運営に係る経費を対象に補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども110番の家実施地区会議数 16地区会議 (うち、12地区会議から請求があり交付した。) 		<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>350</td><td>350</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>325</td><td>324</td></tr> <tr><td>H24</td><td></td><td>325</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>1,000</td><td>674</td></tr> </table>	H22	A	350	350	H23	A	325	324	H24		325		H25				H26				計		1,000	674	子ども110番の家事業の実施により、子どもたちにとって安全で安心な環境づくりを図っていく。	青少年課
H22	A	350	350																													
H23	A	325	324																													
H24		325																														
H25																																
H26																																
計		1,000	674																													
14	青少年の体験活動事業	継続	A	<p>次代を担う青少年の健全育成を図るため、第10回川越市少年の翼事業を実施した。</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前研修3回 ・本研修(4泊5日、北海道河西郡中札内村 他) ・研修生(市内中学生44名) 	<p>H22 研修生44名</p> <p>H23 研修生44名</p>	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>3,510</td><td>2,706</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>3,310</td><td>3,005</td></tr> <tr><td>H24</td><td></td><td>3,200</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>10,020</td><td>5,711</td></tr> </table>	H22	A	3,510	2,706	H23	A	3,310	3,005	H24		3,200		H25				H26				計		10,020	5,711	次代を担う青少年の健全育成を図るため、引き続き、第11回川越市少年の翼事業を実施する。	青少年課
H22	A	3,510	2,706																													
H23	A	3,310	3,005																													
H24		3,200																														
H25																																
H26																																
計		10,020	5,711																													

15	非行防止活動	継続		A	川越市少年指導センターで行う街頭補導活動及び相談業務等を通じて、問題行動等の早期発見・早期指導により、青少年の非行防止、犯罪の被害防止に努めた。 ・街頭補導回数 681回 ・延べ補導員数 3,122人 ・声かけ数 3,480回 ・相談件数 延べ71件(メール相談含む)	H21 ・街頭補導回数 673回 ・延べ補導員数 3,057人 ・声かけ数 3,437回 ・相談件数 延べ39件(メール相談含む) H22 ・街頭補導回数 673回 ・延べ補導員数 3,022人 ・声かけ数 3,005回 ・相談件数 延べ101件(メール相談含む)	H22 A 8,916 7,940 H23 A 8,972 8,462 H24 9,058 H25 H26 計 26,946 16,402	川越市少年指導センターで行う街頭補導活動及び相談業務等を通じて、引き続き、問題行動等の早期発見・早期指導により、青少年の非行防止、犯罪の被害防止に努めていく。	青少年課
16	適応指導教室(2-(2)-6の再掲)	継続		A	教育センター分室(リベール)において、不登校児童生徒への学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施した。		H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 H26 計 0 0	学習支援や体験活動、人間関係づくりなどを通して、児童生徒一人一人のよりよい成長と自立を促し、学校復帰を目指すための支援を行っている。	教育センター(旧 教育研究所)
17	地域子どもサポート推進事業(学校応援団推進事業・学校支援地域本部事業を含む)	拡充	事業に携わった人数10,000人	A	事業に携わった人数22,196人 各地区の事業合計数269 サポート委員の合計数572人 学校応援団活動の合計数144 市内14地区に分かれ、各地区での事業が活発に行われた。	事業に携わった人数 H22 15,409人(前年比138.8%) H23 22,196人(前年比144.0%) 各地区の事業合計数 H22 203(前年比114.0%) H23 269(前年比132.5%) サポート委員の合計数 H22 569人(前年比103.1%) H23 572人(前年比100.5%) 学校応援団活動の合計数 H22 138(前年比129.0%) H23 144(前年比104.3%)	H22 A 5,349 4,727 H23 A 5,000 4,225 H24 4,457 H25 H26 計 14,806 8,952	それぞれの地域の特色を生かした事業が活発に展開されている。一部のスタッフに負担が偏らないよう、情報交換・合同事業・人材発掘等を行っている。	地域教育支援課(旧 生涯学習課)
18	ブックスタート事業	継続		A	4か月児健診会場等で、親子のふれあいについてのメッセージを伝えながら、保護者とあかちゃんに絵本を渡した。 48回実施し、2,977組が参加した。	H22 44回実施 2,601組 H23 48回実施 2,977組	H22 A 566 362 H23 A 1,570 1,712 H24 1,448 H25 H26 計 3,584 2,074	引き続き、親子が絵本を通じてふれあいの時間を持つことができるよう、事業を進めていく。	中央図書館
19	いないいないばあのおはなし会	継続		A	0歳から1歳の乳児と保護者を対象に、読み聞かせと手遊びを行った。 4館合わせて96回実施し、1,884人が参加した。	H22 96回実施 1,805人参加 H23 96回実施 1,884人参加	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 H26 計 0 0	引き続き、小さい時から本に親しむ環境を提供できるよう、事業を進めていく。	中央図書館

20	民生委員・児童委員研修会	継続	年4回実施	A	民生委員・児童委員研修 ・中堅民生委員・児童委員研修 67人 ・現任主任児童委員研修 20人 ・新任主任児童委員研修 3人 ・新任民生委員児童委員研修 13人 民生委員児童委員研修を実施し、子どもに関する様々な問題に対応できるよう努めた。	・中堅民生委員・児童委員研修 H22:85人 H23:67人 ・現任主任児童委員研修 H22:20人 H23:20人 ・新任主任児童委員研修 H22:25人 H23:3人 ・新任民生委員児童委員研修 H22:355人 H23:13人	H22 A 170 114 H23 A 120 65 H24 120 H25 H26 計 410 179	民生委員・児童委員研修 ・中堅民生委員・児童委員研修 ・現任主任児童委員研修 ・新任主任児童委員研修 ・新任民生委員児童委員研修 民生委員児童委員研修を実施し、子どもに関する様々な問題に対応できるよう努める。	福祉推進課
21	スチューデントサポーター派遣事業	継続		A	大学で心理を学ぶ学生による不登校児童生徒への支援として、学校訪問や家庭訪問、教育センター分室(リベラ)における会話や学習支援により、児童生徒の悩みや不安の解消を図り、不登校の予防、解消に向けた支援を行った。		H22 A 488 220 H23 A 488 347 H24 458 H25 H26 計 1,434 567	スチューデント・サポーターの活動時間や支援の方法について、さらに調整を図り、支援の回数を含めて活動の充実を図っていく。	教育センター (旧 教育研究所)
22	スクールボランティア(生徒指導推進委員)の配置	新規	150日 54名	A	学校における生徒指導上の諸課題に対応するために、小中学校にスクールボランティアを配置し、生徒指導体制の充実と児童生徒一人一人への適切な指導に努めた。のべ54名のスクールボランティアを一人当たり年間約150日配置し、諸課題の解決に取り組んだ。	H22 I期 18名 22校配置 II期 18名 26校配置 III期 18名 32校配置 H23 I期 21名 35校配置 II期 20名 34校配置 III期 21名 37校配置	H22 A 13,148 12,819 H23 A 13,148 12,607 H24 13,147 H25 H26 計 39,443 25,426	小中連携による指導主事訪問等を通して学校の現状把握に努め、効果的なスクールボランティアの配置に努めたい。また、スクールボランティアの資質向上と効果的な活用を図っていく。	教育指導課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

5-(4) 体験活動・交流の促進

No.	事業名	目標	目標事業量	平成23年度末 進捗状況	平成23年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績			平成24年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額		
1	川越PTA連合会活動	継続		A	市内各小中学校PTAの常置委員会向けにPTA運営講座を開設。PTA活動の推進に努めた。	PTA運営講座(6回) ※うち1回は家庭教育学級運営講座として実施。	H22 A 90 82 H23 A 90 84 H24 90 H25 H26 計 270 166	PTAの主体性を維持するため、積極的な情報提供・適切な講座等の運営に努める。また、前年度のPTA役員経験者などを招き活動発表を交えながら、効果的な学習となるよう取り組んでいく。	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)		

2	子育て体験学習 (1-(3)-3の再掲)	拡充	10校	A	中学生を対象に「命の力」「命のつながり」を話し伝えることで、自己肯定感を高め、自己と他者を大切に思う心を養い、実際の乳幼児やその親とふれあうことで、自分がうまれてきたことに喜びを感じてもらうことを目的として、市民活動団体と協働委託事業で講座を実施した。	H22: 市内中学校7校で実施 ※提案型協働補助事業のため、市民活動支援課の予算で実施 H23: 市内中学校12校で実施	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	市民活動団体との協働委託事業として中学校約10校で実施予定	子育て支援課
				B	事業の実施について、どのような方法があるか、関係各課と検討した。		H22 B — — H23 B — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	児童館における、児童厚生業務は外部に委託しているが、今後、中学生体験事業の受け入れを視野に、次回契約に向け委託の相手方と協議していく。	青少年課
				A	中学生社会体験事業及び交流事業 公立保育園受け入れ実績 23校 33回 受け入れ生徒数 521名 保育園訪問交流会 2校 2回 243名	社会体験事業等受け入れ H22 15校 H23 23校	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	社会体験学習及び交流活動をする中で、保育園での子どもたちの様子や保育園での職業体験を通し、豊かな心身の育成を図る。	保育課
				A	子育て支援課が主体となって実施した事業について、赤ちゃんボランティア募集の周知に協力した。		H22 B — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	子育て支援課が主体となって行う事業について、事業実施状況を見ながら協力していく。	健康づくり支援課
				B	事業の実施について、どのような方法があるか、関係各課と検討した。		H22 B — — H23 B — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	中心課の事業実施状況を見ながら、必要に応じて協力を検討していく。	中央公民館
				A	子育て支援課が主体となって実施した事業について、中学校との調整を行った。		H22 B — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	子育て支援課が主体となって行う事業について、学校との調整等を行う。	教育指導課
3	川越市子ども会育成団体連絡協議会活動	継続	A	広報誌の発行を通して、子ども会活動を広く理解・周知させることができた。また、市かるた大会や棚倉町交流事業を実施し、子ども会活動の活発化が図られ、青少年健全育成の一助がなされた。	広報誌「ひろば」発行 H22 4回 H23 4回 川越市かるた大会 H22 1回 H23 1回 棚倉町・川越市交流事業 H22 訪問・受入 各1回 H23 訪問・受入 各1回	H22 A 333 333 H23 A 333 333 H24 333 H25 — — H26 — — 計 999 666	川越市内の子ども会育成団体の自主性を尊重しつつ、相互の連絡調整を積極的に図るとともに、子ども会育成会活動の向上と発展に資するため、既存事業の更なる充実を目指していく。	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)	

4	地域人材活用事業	継続	各校8回	A	特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、地域人材を活用し、多様な教育活動や体験活動が展開できるようになった。 実施予定数…275 実施数…635 実施率…231%	実施率 17年度…92% 18年度…100% 19年度…99% 20年度…99% 21年度…130% 22年度…136% 23年度…231%	H22 A 990 1,800 H23 A 825 1,905 H24 660 H25 H26 計 2,475 3,705	道徳、学級活動、総合的な学習の時間、中学校部活動等において多様な学習機会を提供するため、地域の人材を積極的に活用し、特色ある学校づくりを推進していく。	学校管理課
5	中学生社会体験事業(2-(1)-2の再掲)	拡充	実施率100%	A	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自立心を養い、豊かに生きる力を育むことができた。	H22 ・参加生徒数 2,825名 ・協力事業所 のべ771事業所 H23 ・参加生徒数 2,941名 ・協力事業所 のべ828事業所	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 H26 計 0 0	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自立心を養い、豊かに生きる力を育む。	教育指導課
6	生きがい活動支援通所事業	継続	各クラス年1回ずつの交流会	A	霞ヶ関東小学校の空き教室を利用したデイサービスセンターを在校生が訪れ、利用者の高齢者と交流を図った。利用者は小学生の劇や発表(歌・手品・体操など)を喜び、小学生も昔遊び・かるた・トランプを利用者と一緒に楽しんだ。交流の中で、高齢者の戦争等の体験談に小学生が耳を傾ける様子も見られた。	H22・交流会 各クラス1回 ・卒業式後、利用者による卒業生の見送り H23・交流会 各クラス1回 ・利用者による卒業式後の卒業生見送りも例年実施しているが、雨のため急遽中止となった。	H22 A 8,328 8,328 H23 A 8,184 8,184 H24 8,140 H25 H26 計 24,652 16,512	引き続き、利用者に小学生との交流を楽しんでもらうとともに、高齢者とふれあう機会が少なくなっている子どもたちに交流の場を提供していく。	高齢者いきがい課
7	体験学習(小学生対象)	継続	12講座	A	「生きる力」をはぐくむ野外教育プログラムなどの事業を開催した。 15公民館、16講座 参加者延人数:3,541人	H22 13公民館、19講座 参加者延人数 3,475人 H23 15公民館、16講座 参加者延人数 3,541人	H22 A 1,075 842 H23 A 1,058 856 H24 1,254 H25 H26 計 3,387 1,698	「生きる力」をはぐくむ野外教育プログラムなどの事業を開催する。	中央公民館
8	土曜子ども体験(2-(2)-14の再掲)	継続	年22回	A	学校週5日制対応事業として、子どもに豊かな体験の場を提供するため、藍染めや鎧の着装、お正月飾りの作製等の体験を行った。毎月第二・三土曜日(8月を除く)を中心に実施した。23年度は、22回実施	H22 年21回 H23 年22回	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 H26 計 0 0	今後も、プログラムを見直し、よりニーズに合った内容を考えて実施していきたい。また、土曜日だけでなく日曜日の開催も行っていく。	博物館
9	子ども博物館教室(2-(2)-15の再掲)	継続	年3回	A	子どもに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深めるための学習に取り組んだ。内容としては、はにわ作り、川越の文化財探検、昔の織物体験を行った。3回予定していたが雨天中止のため2回実施	H22 年3回 H23 年2回	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 H26 計 0 0	1日かけてじっくり取り組めるプログラムとし、今後も川越の歴史、民俗、文化財等にかかわる内容で、毎年数種類更新して実施していく。	博物館
10	夏休み子ども体験(2-(2)-16の再掲)	継続	年3回	A	夏季休業日を活用して学校教育と連動した学習の場として、ミニ灯笼作り、探検!となりのまちの博物館、ミニ弥生土器を作ろうを行った。3回実施	H22 年3回 H23 年3回	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 H26 計 0 0	今後も、夏季休業日を利用して博物館に来館し、興味を持って取り組める内容を実施していく。	博物館

11	昔の遊び (2-(2)-17の再掲)	継続	年2回	A	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむことを目的にペーゴマ回しや割り箸鉄砲等の体験を行った。2回実施	H22 年2回 H23 年2回	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	今後も、昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむことを目的にプログラムを組み、指導者として、市民ボランティアの協力を得て実施していく。	博物館
12	海外姉妹都市交流事業	継続	年間派遣件数 1件	A	アメリカ・セーレム市に中学生交流団を派遣した。 期間 8月19日～8月25日 参加者 市内中学3年生22名、引率3名	年間派遣件数 平成22年度 1件 平成23年度 1件	H22 A 3,100 2,903 H23 A 3,000 2,794 H24 3,000 — H25 — — H26 — — 計 9,100 5,697	引き続き、海外姉妹都市へ市内中学校代表22名を派遣する。 平成24年度派遣先 ドイツ・オッフエンバッハ市	文化振興課 (旧 国際交流課)

【網掛】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

5-(5) 地域における子育て支援のネットワークづくり

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成23年度末 進捗状況	平成23年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				平成24年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額		
1	地域子育て支援拠点事業 (5-(1)-5の再掲)	拡充	25箇所	B	13箇所平成22年度に引き続き実施。 子育て親子の交流の場の提供。育児相談。子育て講座の開催。子育て情報の提供。 ※子育て支援センター3箇所は公民館、公園等への出張支援も行っている。 【13箇所】	H22 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人6箇所) 計10箇所を実施。 H23 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人9箇所) 計13箇所を実施。	H22 B — — H23 B — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	子育て支援拠点の新規開設を検討し事業の拡充を図るとともに、既存の子育て支援施設の支援内容の向上を図る。	保育課			
2	保育所による地域子育て支援事業 (5-(1)-6の再掲)	拡充		A	地域の親子へ園行事への参加の呼びかけ。園庭開放。 育児サークル支援。 【37箇所】	H22 公立20園 法人13園 計33園で実施。 H23 公立20園 法人17園 計37園で実施。	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	新規開設園に事業実施を依頼し事業の拡充を図る。	保育課			
3	子育てサークルへの出前講座	拡充		A	公民館、自治会館等で自主的に活動する子育てサークルからの育児相談、子育て講座等の依頼により、保育士が出向き協力する。 サークル支援 55回	サークル支援 55回 1,156人	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	年々、子育てサークルが減少している中、活動しているサークルに出張支援を行うことで、各家庭の育児不安の解消や育児力の向上を図る。 法人子育て支援施設や保育園等関係機関と連携して、新たな子育てサークルへの支援を検討していく。	保育課			
				A	公民館等で活動する子育てサークルからの依頼により、出前講座を実施した。	講座開催回数 H22:7回406人 H23:2回 48人	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	公民館等で活動する子育てサークルからの依頼により、出前講座を実施する。	健康づくり支援課			

4	子育てサークルへの施設提供	継続	随時	A	公民館は地域の学習拠点としての機能があり、住民の集会その他の公共的利用に供した。 開催公民館:17公民館、1分室、1分館 年間利用件数:47,586件 年間利用者:887,594人	H22 開催公民館:17公民館、1分室、1分館 年間利用件数:47,014件 年間利用者:779,974人 H23 開催公民館:17公民館、1分室、1分館 年間利用件数:47,586件 年間利用者:887,594人	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	公民館は地域の学習拠点としての機能があり、住民の集会その他の公共的利用に供する。	中央公民館
5	子育てサロン事業	継続	19サロン	A	乳幼児をもつ親が交流できる場を設け、コミュニケーションを促進し、子育ての孤立化を防ぐため、子育てサロンの全市的展開をすすめた。 開催公民館:17公民館 サロン開催数:21サロン サロン延開催数:312回 参加者延人数:13,600人	開催公民館 H22 17公民館 H23 17公民館 サロン開催数 H22 20サロン H23 21サロン サロン延開催数 H22 297回 H23 312回 参加者延人数 H22 13,327人 H23 13,600人	H22 A 2,447 2,331 H23 A 2,385 2,385 H24 2,445 H25 H26 計 7,277 4,716	乳幼児をもつ親が交流できる場を設け、コミュニケーションを促進し、子育ての孤立化を防ぐため、子育てサロンの全市的展開をすすめる。	中央公民館
6	子育てサポーター養成講座	継続	1講座	A	地域の子育てを支援する、子育てサポーターを養成する講座を開催した。 2館、2講座、開催数11回 参加者延人数:169人	H22 2館、2講座、開催数10回 参加者延人数:162人 H23 2館、2講座、開催数11回 参加者延人数:169人	H22 A 50 145 H23 A 77 153 H24 53 H25 H26 計 180 298	地域の子育てを支援する、子育てサポーターを養成する講座を開催する。	中央公民館
7	子育てネットワーク事業	拡充		A	要保護児童対策地域協議会の実務者会議を子育て支援ネットワークとして位置付け、子育て支援に関して連携を図った。 実務者会議 9回	H22 実務者会議 9回 H23 実務者会議 9回	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	引き続き、前年度と同数程度の会議を開催し、子育て支援体制の連携を図る。	子育て支援課

8	子育て支援プロジェクトチームの設置	新規	年間12回	B	子育て支援事業の効果的な推進を図るため、子育て体験学習事業や子育て情報誌等について協議した。子育て情報誌は、配布方法や配布部数等についての変更を協議した。	H22:開催数 1回 H23:開催数 3回	H22 B — — H23 B — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	子育て支援に係る施策等で検討が必要な事項については、随時、当プロジェクトチームを開催して協議していく。子育て情報誌、子育て体験学習について協議する。	子育て支援課
				A	子育て支援プロジェクトチームにて、関係機関との連絡調整を図った。 プロジェクトチームで検討したメール配信については、児童館情報を定期的に配信した。		H22 B — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	子育て支援プロジェクトチームにて関係機関との連絡調整を図る。	青少年課
				A	子育て支援プロジェクトチームにて、関係機関との連絡調整を図った。 プロジェクトチームで子育て情報誌の充実に向け、子育て情報誌を一本化することで充実を図ることとした。		H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	子育て支援プロジェクトチームにて関係機関との連絡調整を図る。	保育課
				A	子育て支援プロジェクトチームにて関係機関との連絡調整を図った。		H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	子育て支援プロジェクトチームにて関係機関との連絡調整を図る。	健康づくり支援課
				A	関係機関と連携を図り、市として子育て事業の方向性を検討した。	H22:開催数 1回 H23:開催数 3回	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	子育て支援プロジェクトチームにて関係機関との連絡調整を図る。	中央公民館
				A	子育て支援プロジェクトチームにて関係機関との連絡調整を図った。		H22 B — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	子育て支援に係る施策等で検討が必要な事項については、随時、当プロジェクトチームを開催して協議していく。	教育指導課

5-（6）子育て情報提供の充実

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成23年度末 進捗状況	平成23年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績			平成24年度の方向性	所管課
							年度	進捗状況	予算額		
1	育児情報発信活動	拡充		A	子育て情報コーナーや、市のHP及びモバイルサイトの「子育て支援のページ」を整備して知りたい情報を簡単に取得できるように努めるとともに、メール配信サービスで登録者が必要とする情報を積極的に配信した。登録件数978件。配信数114件。 各施策、各相談窓口など出産や子育てに関する情報を幅広く掲載した子育て情報誌「こえどちゃん」を発行して、母子手帳交付時、中学生以下のいる世帯の転入手続き時、そのほか希望者に配布し、情報提供の推進を図った。	H22 メール配信登録件数 800件 メール配信数 37件 情報誌 3,000冊配布 H23 メール配信登録件数 978件 メール配信数 114件 情報誌 5,100冊配布	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	情報誌については増刷して、より多くの方にご覧いただけるようにする。 HP、モバイルサイト、メール配信等を活用し、子育て支援サービスのメニューや手続方法の周知を図っていく。	子育て支援課		
					A	毎月、子育て情報紙を1,300部発行し、公民館等へ配布した。講座情報も広報への掲載、チラシ配布を行うことで、定期的な情報提供に努めた。 平成23年1月より、従来の子育て情報紙、施設一覧のホームページ掲載に加え、携帯への配信サービス、モバイルサイト掲載も実施し、より幅広い情報提供を行った。	H22 川越子育て情報誌 2,800部作成。 子育て情報紙 年12回 1,300部発行。 H23 子育て情報紙 年12回 1,300部発行。	H22 A 300 300 H23 A 300 — H24 — — H25 — — H26 — — 計 600 300	子育て情報紙、講座情報等の提供	保育課	
					A	広報、ホームページの活用、乳幼児健診や相談、訪問指導等の事業において情報提供を行うとともに、子育て情報誌に母子保健情報のコーナーを設けてもらい、情報を発信した。	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	広報、ホームページの活用、乳幼児健診や相談、訪問指導等の事業において情報提供を行うとともに、子育て情報誌に母子保健情報のコーナーを設けてもらい、情報を発信した。	健康づくり支援課		
2	育児サークル支援	拡充		A	育児サークル支援 55回、サークル交流会 1回 子育て情報紙にサークル紹介を掲載。サークル交流会を開催し、サークル間の交流を支援した。また、サークル状況調査を実施し、育児サークルの状況把握と支援センターの支援内容の情報提供に努めた。 内容～手遊び、親子遊び、製作、ミニ勉強会等	H22 育児サークル支援 52回、 1,278人 サークル交流会 1回、12サークル H23 育児サークル支援 55回、 1,156人 サークル交流会 1回、8サークル	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	年々、育児サークルが減少している中、活動しているサークルに出張支援を行うことで、各家庭の育児不安の解消や育児力の向上を図る。 法人子育て支援施設や保育園等関係機関と連携して、新たな子育てサークルへの支援を検討していく。	保育課		
				A	公民館等で活動する子育てサークルからの依頼により、出前講座を実施した。	講座開催回数 H22:7回 406人 H23:2回 48人	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	公民館等で活動する子育てサークルからの依頼により、出前講座を実施する。	健康づくり支援課		

3	市民との協働による子育て情報誌	新規	年間発行部数 6,000部	A	中央公民館の講座で作成した子育て情報誌「こえどちゃん」の原版に必要な情報を付加して印刷・製本を行い、母子手帳交付時、中学生以下のいる世帯の転入手続き時、そのほか希望者に配布した。	情報誌「こえどちゃん」 H22 H23配布用 3,000冊 H23 H23配布用 2,100冊(増刷) H24配布用 6,500冊	H22	A	226	95	有料広告を掲載することで新たな収入を確保し、製本数を増やして母子手帳交付時、未就学児世帯の転入手続き時、そのほか希望者に配布する。	子育て支援課	
								H23	A	404			403
								H24		329			
							H25						
							H26						
							計		959	498			
				A	子育て情報誌に母子保健情報のコーナーを設けてもらい、事業の情報提供を図った。また、乳幼児健診や訪問の際に情報誌を活用し情報提供を行った。 平成23年度より「こえどちゃん」を母子健康手帳と併せて配布するようになったため、新生児訪問・こんにちは赤ちゃん訪問時での配付を終了とした。		H22	A	95	95	乳幼児健診や訪問の際に情報誌の活用し情報提供を行う。	健康づくり支援課	
						H23	A	95	—				
						H24		—					
							H25						
							H26						
							計		190	95			
				A	子育てガイドマップの作成を通して、親たちに仲間作りの場を提供し、育児に関する地域の情報をまとめ、市民に提供する子育てガイドマップ作成講座を開催した。 1公民館、1講座 参加者延人数 280人 年間発行部数6,500部	H22 1公民館、1講座 参加者延人数 256人 年間発行部数 6,000部 H23 1公民館、1講座 参加者延人数 280人 年間発行部数 6,500部	H22	A	125	139	育児に関する地域の情報をまとめる、子育てガイドマップ作成講座を開催する。	中央公民館	
							H23	A	125	203			
							H24		117				
							H25						
							H26						
							計		367	342			